人手不足に悩むゴルフ場管理における効率性と安全性を支えるドローンソリューションの開発

ドローン×ITで企業向けソリューションを提供するドローン・アイティー。コロナ禍で人手不足が深刻化する中、ゴルフ場管理業務を効率化するために、農薬散布や傾斜地での作業を支える国産ドローン導入と管理システムを開発した。今後は公園管理や防災力向上への展開も視野に入れ、新たな社会貢献を目指している。



導入した国産ドローン　試験飛行の様子

補助事業のきっかけ

・ドローンを活用したソリューション提供、パイロット育成スクールの運営、そして災害対策など、BtoB向けに事業を展開している。
・ゴルフ場の広大な敷地や傾斜のあるエリアに対して管理業務の効率化と安全性向上が従来から課題であったが、コロナ禍で人手不足が一層深刻になっていた。

事業計画の概要

・農薬散布や災害対応に向けたドローンソリューションの提供に向けて、国産ドローン機体の導入と、管理業務に特化したクラウドシステムを開発した。
・さらに、台風などの自然災害時における現地調査や避難誘導の役割も視野に入れた運用を推進することを目指した。

事業化状況

・ゴルフ場管理において、芝生の農薬散布や樹木の健康管理にドローンを活用し、精度の高い作業を実現している。問い合わせ数が増加し、デモ実施も進んでいる。クラウドシステムの利便性が高く評価され、作業効率の改善が期待されている。
・ゴルフ場管理業務のためのスクールも開講予定で、顧客企業のパートナーとしての役割が拡大している。

ドローンでビジネスも防災も

当社の事業は大きく分けて3つあります。1つ目がドローン技術者の育成をするスクール事業、2つ目がドローンを活用したビジネスを検討している企業の支援、そして3つ目がドローンを用いた災害対策事業です。ドローンを活用したビジネスに注力することはもちろんですが、災害の支援などにもドローンが持つ可能性で貢献したいと思っています。当社の主要顧客にゴルフ場運営を行う企業がいます。広大なゴルフ場の管理業務は作業負担も多く、従来から人手不足と言われていました。人手不足に加えて、コース管理などを行うスタッフは多岐にわたる知識が必要で、樹木や芝生の管理、農薬散布など担当する仕事が膨大です。コロナ禍で人手不足が一層深刻化する中、「ドローン」の活用でゴルフ場管理の効率化に貢献できると考えました。

公園にもノウハウを展開

ゴルフ場での農薬散布は通常散布車で行われています。平坦な場所ならそれが効率的な方法ではあるのですが、車や人が入りにくい傾斜部などもゴルフ場には多くあり、また池に藻が出ることもあります。そこで活躍するのがドローンです。補助事業では、国産農薬散布ドローンを導入し、クラウド管理システムを開発しました。この事業モデルは、ゴルフ場の芝生や植樹の管理を行なっているグリーンキーパー向けの人材育成です。芝生などの管理情報・ノウハウ共有による社員スキルの底上げ、車が入れない傾斜地や池周辺はドローンによる農薬散布を行い、安全性向上にも貢献するものです。作業負担の軽減を図り、社内の人材で品質の高い管理業務ができるようになることを目指します。

グリーンキーパーの皆さんとディスカッションを経てゴルフ場管理に特化したドローン操作およびシステム運用のカリキュラムも完成しました。ゴルフ場からの問い合わせも増えており、広報活動にもさらに力を入れていく予定です。また、今後はゴルフ場のみならず、災害時の避難場所としての役割をもつ公園へも管理ノウハウを展開し、公共施設の防災力向上にも貢献したいと考えています。

企業概要

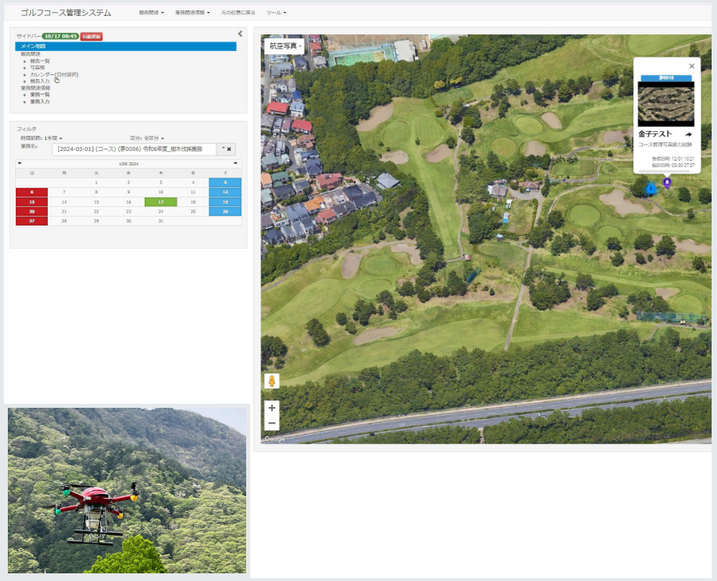
Drone-IT

2019年に設立し、ドローン技術の普及と人材育成に特化した企業である。「横浜ドローンアイティー・スクール（YDIS）」を運営し、国土交通省認定登録講習機関として質の高いドローン技術者育成を行っている。主要事業として、ドローン技術者の育成、ドローン導入コンサルティング、ドローン活用ソリューションの3つを展開。特に人材育成、IT活用、地域貢献の3つを柱とし、ドローン×ITの技術を活かした企業向けソリューションの提供や、防災・災害対策にも注力している。

- ドローン・アイティー株式会社
- 代表取締役　金子信洋
- 2019年6月
- 〒220-0004
  神奈川県横浜市西区北幸1-11-1
  水信ビル7階
- 2人
- 500万円
- 045-515-2285
- 技術サービス業(他に分類されないもの)
- ▶▶ WEBサイト

取材の現場から

当社は、災害現場でのドローン活用を通じ緊急時の安全確保の調査に貢献してきた。この現場経験から得た即応性と効率化のノウハウと、他県で運用する災害情報収集システムを応用し、ゴルフ場向けシステムを開発した。現場に即する教育カリキュラム作成のため、実務を担うグリーンキーパーとも協力する。金子社長の「現場第一」の姿勢が事業全体の基盤を支えている。



ノウハウが凝縮された、ゴルフ場管理システムのインターフェース（写真内左下/農薬散布の試験飛行）







左/導入したドローンを持つ代表取締役の金子 信洋氏（左）と各種資格を持つインストラクターの宮沢 雅幸氏（右）　右上/防災・減災のエキスパート人材育成も担う　右下/技術者を育成するスクール事業